

一般市街地ゾーン

要素		景観形成基準													
建築物・工作物	形態意匠	①建築物等は、周辺の景観及び街並みと調和する形態・意匠とする。 ②屋根や屋上建築設備、広告物は、建築物と統一感のある一体的なデザインとするなど、軽快なスカイラインを持った景観を形成する。 ③大規模な施設では、配置を工夫したり、適度に分節するなど、圧迫感を軽減させ、周辺との調和を図る。 ④小河川に面する敷地では、親水空間の確保や小河川に対して開放的な意匠とする。													
	色彩	<table border="1"> <thead> <tr> <th>色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1R~10R</td> <td>—</td> <td>4以下</td> </tr> <tr> <td>0.1YR~5Y</td> <td>—</td> <td>6以下</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>—</td> <td>2以下</td> </tr> </tbody> </table>	色相	明度	彩度	0.1R~10R	—	4以下	0.1YR~5Y	—	6以下	その他	—	2以下	※ただし、木材、漆喰、瓦、金属瓦(銅板葺等)等の塗装を施さない自然素材を使用する場合、又はベンガラなどの地域性を表す塗装については、この限りではない。 ②アクセントカラーは、上表の彩度に6を加えた値を上限とする。 ③広告物は、風格のある景観形成に資するよう配慮する。
色相	明度	彩度													
0.1R~10R	—	4以下													
0.1YR~5Y	—	6以下													
その他	—	2以下													
緑化措置等	①適度に壁面後退し、植栽スペースを確保したり、壁面緑化等、生垣やプランターを設置するなど、潤いのある景観を創出する。 ②塀などは、できる限り自然素材を使用するなど、風格のある街並みに相応しく柔らかな表情を持った景観を形成する。 ③大規模な施設では、まとまったオープンスペースを確保するなど、開放的な街並みを形成する。 ④敷地内の緑化を推進する。														

